

水道事業の新たな基本計画（案）の中間報告

- 1 位置付け
- 2 構成
- 3 施策体系・施策など

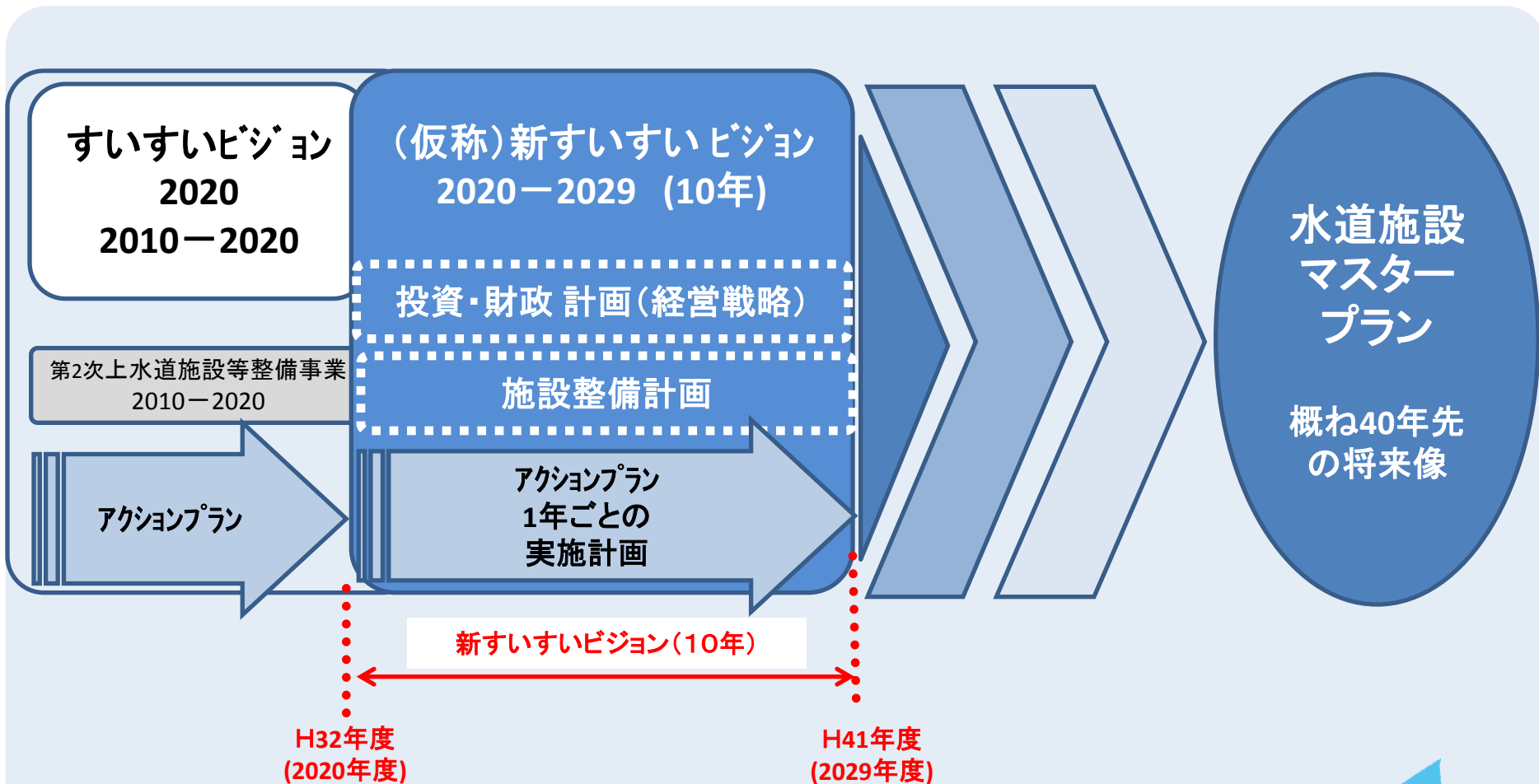


平成31年(2019年)1月22日（火）
第12次水道事業経営審議会 第2回

1 位置付け



1 位置付け



今後の予定

- パブリックコメントの実施 7月上旬～8月上旬
- 新ビジョン策定 9月末



2 構成



第1章 策定の趣旨・位置づけと計画期間

第2章 水道事業の概要

第3章 これまでの取組と評価

第4章 将来の事業環境

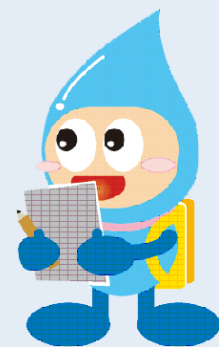
第5章 理想像・基本方針と目標設定

第6章 推進施策と具体的な取組

第7章 施設整備計画

第8章 投資・財政計画

第9章 新水道事業ビジョン策定後のフォローアップ



3 施策体系・施策など



基本理念・基本方針

基本理念

安全

安全で安心できる
水道水の供給

強靱

災害に強く、安定して供給
ができる水道施設・体制の構築

持続

将来にわたり持続
可能な水道事業の運営

安全 ～安全で安心できる水道水の供給～

水安全計画の推進、鉛製給水管の解消、給水装置の適正管理等

強靱 ～災害に強く、安定して供給ができる水道施設・体制の構築～

水源の確保、浄配水施設の耐震化、危機管理体制の強化等

持続 ～将来にわたり持続可能な水道事業の運営～

「地域の水道」としてのサービス・広報・広聴の充実、省エネルギー等の推進
人材育成・技術の継承、経営基盤の強化等

3 施策体系・施策など

☆答申のポイント☆

- 水安全計画に基づき、水道GLP（Good Laboratory Practice 優良試験所規範）の維持などの高い安全性を維持するための取組を進めること。
- 水道水の安全性について市民へわかりやすい情報提供に努めること。

基本方針1 安全 ～安全で安心できる水道水の供給～

施策1 安全な水の供給

事業1 高水準な浄水処理の維持・向上

- 水安全計画に基づいた水質管理の維持向上
- 水道GLPの認定維持
- 浄水処理技術の知見の収集

事業2 鉛製給水管への対策

- 地域毎の面的整備での解消
- 配水管工事や漏水修繕工事等での解消
- 助成金制度の活用促進

事業3 直結給水の推進、給水装置及び貯水槽水道の適正管理

- 直結給水のメリットのPR
- 貯水槽水道の点検、指導、助言

吹田市水安全計画



吹田市水安全計画冊子



水道GLP認定ロゴマーク



水質試験の様子

3 施策体系・施策など

☆答申のポイント☆

- 泉浄水所の将来的な廃止を見据えた南部地域への安定給水の確保のための地下水源の増強を行うこと。

基本方針2 **強靱** ～災害に強く、安定して供給ができる水道施設・体制の構築～

施策1 安定供給に必要な水源の確保



淀川（表流水）

事業1 淀川表流水の維持

- 水利使用許可の更新
- 取水場の整備
- 企業団水の安定確保

事業2 地下水源の充実

- 井戸の新設・掘替を行い、増強を図る
- 既存の地下水源の確保のための適切な維持管理



新規井戸の掘削工事

3 施策体系・施策など

☆答申のポイント☆

- 片山浄水所水処理施設更新工事などの二大工事を着実に進めること。
- 泉浄水所の将来的な廃止を見据えた南部地域への安定給水の確保のための施設整備を優先的に行うこと。

基本方針2 強靱 ～災害に強く、安定して供給ができる水道施設・体制の構築～

施策2 片山浄水所を中心とした施設整備



新浄水処理施設（片山浄水所）
平成32年度完成予定



片山・泉連絡管布設工事のイメージ図

事業1 片山浄水所水処理施設の更新

- 老朽化し、処理能力が低下している浄水処理施設の更新
- 災害時でも安定して給水できる浄水施設の構築

事業2 片山浄水所場内整備

- 浄水所内の整備

事業3 片山浄水所・泉浄水所連絡管整備

- 片山浄水所と泉浄水所自己水の相互融通
- 南部地域の安定給水の確保

事業4 南千里分岐・片山浄水所送水管整備

- 企業団水受水の増量

3 施策体系・施策など

☆答申のポイント☆

- 将来的に予測される巨大地震の発生に備えて耐震化を促進すること。
- 災害リスクや社会的ニーズを踏まえた耐震効果の高い管路を優先的に整備すること。

基本方針2 **強靱** ～災害に強く、安定して供給ができる水道施設・体制の構築～

施策3 浄配水施設整備の推進



水道施設の保守点検

事業1 浄配水施設の更新・耐震化

- 経年設備の更新
- 配水場場内管の耐震化等

事業2 浄配水施設の維持・管理

- 保守点検・修繕工事
- 配水池等の劣化診断・池内清掃
- 施設台帳の効率的な活用

3 施策体系・施策など

☆答申のポイント☆

- 施設・管路更新は、長期的な視点で計画的に更新するとともに、耐震化も促進すること。
- 管路更新の路線選定にあたっては、市民生活への影響など重要度を考慮し効率的な事業執行を行うこと。

基本方針2 強靱 ～災害に強く、安定して供給ができる水道施設・体制の構築～

施策4 管路整備の推進



水道管布設工事



水道管の維持管理（漏水修繕）

事業1 基幹管路の整備

- 大規模災害時における安定給水確保のための耐震化や複線化の推進

事業2 配水支管の整備

- 重要度を考慮した効率的・効果的な更新
- 年間8kmのペースで更新

事業3 管路の維持管理の充実

- 弁栓類や軌道、河川横断管路の点検
- 計画的な管内洗浄
- 災害時に迅速な対応が可能な体制整備

3 施策体系・施策など

☆答申のポイント☆

- 危機管理マニュアル等の充実を含めたソフト面の強化に努めること。
- 風水害等にもリスクマネジメントの考え方を取入れた危機管理能力のレベルアップを図ること。

基本方針 2 強靱 ～災害に強く、安定して供給ができる水道施設・体制の構築～

施策 5 危機管理体制の強化



防災訓練の様子



災害時給水拠点



熊本地震派遣での
応急給水の様子

事業 1 計画・マニュアルの充実

- マニュアル等の定期的な見直し
- 受援計画の策定
- 危機管理意識向上のための取組み

事業 2 応急給水体制の充実

- 災害時給水拠点等の整備
- 効果的な手法による応急給水訓練の実施

事業 3 応急復旧体制の充実

- 迅速な復旧を可能とするための備蓄資材の充実
- 効果的な手法による訓練の実施

3 施策体系・施策など

☆答申のポイント☆

- 吹田の特性を踏まえ「吹田らしさ」を活かした水道事業を目指すこと。
- 水道利用者へのサービスの充実など、より一層の経営努力を行うこと。

基本方針3 持続 ～将来にわたり持続可能な水道事業の運営～

施策1 「地域の水道」としての 水道利用者サービスの充実



給水相談業務の様子



高齢者宅の水道相談・点検の様子

事業1 料金に係るサービスの充実

- HPでの閉開栓受付の導入等
- 利便性の高い支払い方法の検討

事業2 給水装置の維持管理に係る サービスの充実

- 給水装置等に関する相談・問い合わせ等の対応
- 高齢者宅の水道相談・点検

事業3 水道水質に係るサービスの 充実

- 水道水質についての要望・問い合わせに対する水質検査の実施

3 施策体系・施策など

☆答申のポイント☆

- 事業の「見える化」を積極的に行い、市民に身近で信頼される水道を目指すこと。
- 「地域の水道」として水の大切さや水道水の安全性などについて積極的にPRすること。

基本方針3 持続 ～将来にわたり持続可能な水道事業の運営～

施策2 「地域の水道」として 市民理解が得られる広報・広聴



水道いどばた会議の様子



すいすいくん祭り



水道事業経営審議会の様子

事業1 多様な手段による広報の充実

- 広報誌やHP、イベント等を活用して、より効果的なPR手法の検討、実施
- 職員が地域に出て水道事業への理解を広げる取組

事業2 市民参画の推進

- 水道事業経営審議会での審議
- 市民アンケートの実施
- 大学等との連携によるイベント開催等の取組

3 施策体系・施策など

☆答申のポイント☆

- 引続き自然流下での配水方式の拡大に努めること。
- 実効性の高い再生可能エネルギーの導入を積極的に進めること。

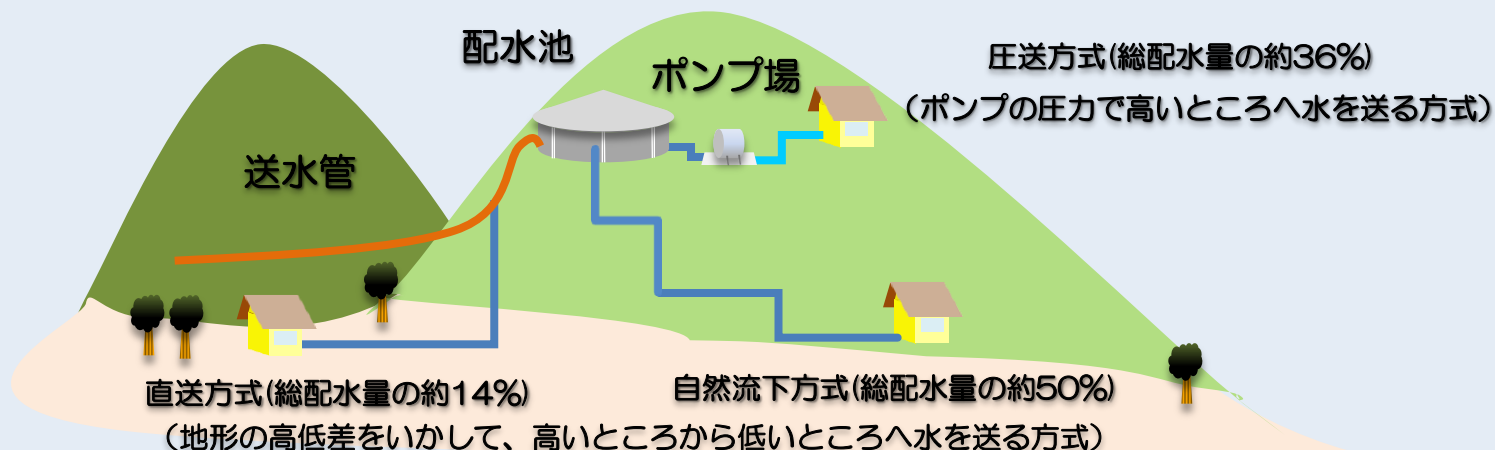
基本方針3 持続 ～将来にわたり持続可能な水道事業の運営～

施策3 環境に配慮した事業の推進

事業1 省エネルギー・省資源の推進

- 位置エネルギー（高低差）を利用した自然流下による環境負荷低減
- 実効性の高い再生可能エネルギーの導入

配水方式イメージ図



3 施策体系・施策など

☆答申のポイント☆

- 水道事業体の責任を将来にわたって果たすことができるよう、技術・技能の継承を図ること。

基本方針3 持続 ～将来にわたり持続可能な水道事業の運営～

施策4 円滑な業務執行に必要な体制整備

事業1 組織編制の最適化

- 必要な人員の確保
- 定期的な組織編制
- 業務分担の見直し

事業2 人材育成と技術の継承

- 人材育成方針の策定
- 計画的・段階的な研修の実施
- 管理職への意識啓発の取組



部内研修の様子（ワーキンググループの発表）

3 施策体系・施策など

☆答申のポイント☆

- 将来にわたり安定した事業経営が可能となるように基盤強化を図ること。
- 健全な水道事業を次世代に引継ぐために必要な施設整備を見据えた料金水準を定期的に検証すること。
- 段階的かつ発展的な広域化として近隣事業体との連携を積極的に進めること。

基本方針3 持続 ～将来にわたり持続可能な水道事業の運営～

施策5 経営基盤の強化に向けた取組

事業1 計画の推進

- P D C A サイクル等による事業の推進
- 料金水準の定期的な検証

事業2 財源確保の取組

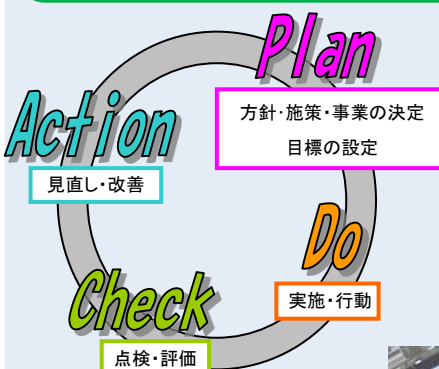
- 未利用資産の活用

事業3 広域連携による効率的な事業実施

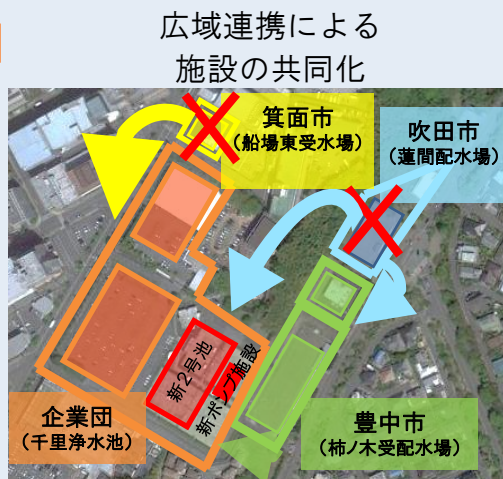
- 近隣事業体との水平連携による施設の共同化

事業4 効率的な業務執行

- 料金業務の効率化
- 業務委託の拡大・官民連携の推進の検討



PDCAサイクルのイメージ図



引用:「Google マップ / Google Earth」

3 施策体系・施策など

☆答申のポイント☆

- 将来にわたり安定した事業経営が可能となるように基盤強化を図ること。
- 健全な水道事業を次世代に引継ぐために必要な施設整備を見据えた料金水準を定期的に検証すること。
- 段階的かつ発展的な広域化として近隣事業体との連携を積極的に進めること。

基本方針3 持続 ～将来にわたり持続可能な水道事業の運営～

施策5 経営基盤の強化に向けた取組

事業5 技術監理の向上

- 工事監理の向上
- 新技術・新材料の研究・導入

事業6 フューチャー・デザインの取組

- 部内研修の実施
- タウンミーティングの検討

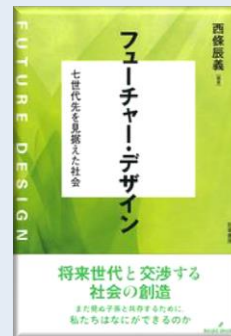
【現世代】



【仮想将来世代】



第11次吹田市水道事業経営審議会で行った
フューチャー・デザイン ワークショップ



西條辰義 (2017) フューチャー・デザイン

